



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 日東工器株式会社 上場取引所 東

コード番号 6151 URL <https://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統轄 (氏名) 野口 浩臣 TEL 03-3755-9970

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 20,090	% △1.1	百万円 1,117	% △45.8	百万円 1,339	% △38.8	百万円 2,170	% 49.7
2025年3月期第3四半期	20,307	△1.5	2,063	△2.6	2,188	△4.8	1,449	△10.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,425百万円 (30.9%) 2025年3月期第3四半期 1,852百万円 (△32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 115.97	円 銭 -
2025年3月期第3四半期	77.41	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 67,675	百万円 59,895	% 88.5
2025年3月期	66,605	58,183	87.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 59,886百万円 2025年3月期 58,172百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 21.00	円 銭 -	円 銭 18.00	円 銭 39.00
2026年3月期	-	20.00	-		
2026年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 27,300	% 0.2	百万円 1,500	% △36.0	百万円 1,700	% △32.3	百万円 2,500	% 85.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想については、本日(2026年2月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	19,154,495株	2025年3月期	19,154,495株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	440,167株	2025年3月期	440,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	18,714,328株	2025年3月期 3Q	18,722,779株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P 3 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、2024年4月から2027年3月までの3年間を実行期間とする「中期経営計画2026」に基づき、①収益力の強化と成長領域への投資拡大、②生産体制の最適化とコスト競争力の強化、③持続的成長実現に向けた経営基盤構築を主要課題として掲げ、持続的成長を目指して取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営環境は、米国の関税政策が、自動車や輸送用機器、設備機械など幅広い産業に影響を及ぼしており、生産量の減少や設備投資の抑制が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況もあり、国内外の需要は低調に推移し、迅速流体継手事業及びリニア駆動ポンプ事業が底堅い状況を維持したものの、機械工具事業及び建築機器事業における需要低迷の影響を受け、減収となりました。

利益面では、市況回復の遅れにより売上が想定を下回ったため、固定費負担が相対的に増加したことにより、営業利益は前年同期比で減益となりました。また、第1四半期は新工場への移転関連費用を特別損失として計上し、第3四半期は経済産業省より補助金の交付を受け特別利益として計上しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高 200億90百万円（前年同期比 1.1%減）

営業利益 11億17百万円（前年同期比 45.8%減）

経常利益 13億39百万円（前年同期比 38.8%減）

親会社株主に帰属する四半期純利益 21億70百万円（前年同期比 49.7%増）

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、半導体向け及び自動車関連産業向け需要の低調が継続しているものの、産業機械向け需要は底堅く推移しました。これらの結果、売上高は89億94百万円（前第3四半期連結累計期間比0.9%の増収）となりました。利益面では、経費の増加及びタイバーツ高による仕入額の増加により原価率が上昇し、営業利益14億12百万円（同10.3%の減益）となりました。

機械工具事業は、建設、建築業界向け製品の売上の減少により、売上高は61億28百万円（同4.2%の減収）となりました。利益面では、消耗品の売上減少に加え原価率が上昇し、営業損失2億57百万円（前第3四半期連結累計期間は4億18百万円の営業利益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、欧米の売上増により、売上高は33億59百万円（同3.3%の増収）となりました。利益面では、タイバーツ高による仕入額の増加により原価率が上昇し、営業利益28百万円（同15.2%の減益）となりました。

建築機器事業は、建設業界の資材高騰及び人材不足の影響による遅延や延期が多く、売上高は16億7百万円（同7.6%の減収）となりました。利益面では、売上減少により、営業損失65百万円（前第3四半期連結累計期間は36百万円の営業利益）となりました。

海外売上高は、欧米及び東アジアの売上増により、70億37百万円（前第3四半期連結累計期間比2.1%の増収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は35.0%となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、676億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億70百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は340億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億1百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少76億17百万円、流動資産のその他に含まれる未収入金の増加23億69百万円等によるものであります。

固定資産は、335億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して56億71百万円の増加となりました。これは主に建物及び構築物（純額）の増加104億76百万円、機械装置及び運搬具（純額）の増加15億70百万円、工具、器具及び備品（純額）の増加8億46百万円、建設仮勘定の減少81億61百万円、無形固定資産の増加6億30百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は35億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億84百万円の減少となりました。これは主に買掛金の減少2億59百万円、賞与引当金の減少2億35百万円等によるものであります。

固定負債は、41億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して57百万円の減少となりました。これは主に退職給付に係る負債の減少76百万円、リース債務の増加18百万円等によるものであります。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、21億70百万円でしたが、配当金の支払い7億11百万円があったため、利益剰余金は、14億59百万円の増加で534億15百万円となりました。また、その他有価証券評価差額金の増加3億35百万円、繰延ヘッジ損益の増加88百万円、為替換算調整勘定の減少1億97百万円等があったため純資産の部は、598億95百万円となり、前連結会計年度末と比較し17億11百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして修正を行いました。詳細につきましては、2026年2月13日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	20,305	12,687
受取手形及び売掛金	3,457	3,476
電子記録債権	3,153	3,055
商品及び製品	6,541	6,152
仕掛品	326	427
原材料及び貯蔵品	3,506	3,804
その他	1,400	4,484
貸倒引当金	△2	△2
<b>流动資産合計</b>	<b>38,687</b>	<b>34,086</b>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,698	22,634
減価償却累計額	△7,387	△7,847
建物及び構築物（純額）	4,310	14,787
機械装置及び運搬具	5,309	6,951
減価償却累計額	△4,308	△4,379
機械装置及び運搬具（純額）	1,001	2,572
工具、器具及び備品	8,083	9,173
減価償却累計額	△7,517	△7,760
工具、器具及び備品（純額）	565	1,412
土地	4,121	4,185
リース資産	2,812	3,000
減価償却累計額	△1,334	△1,506
リース資産（純額）	1,478	1,493
建設仮勘定	8,313	151
<b>有形固定資産合計</b>	<b>19,791</b>	<b>24,603</b>
無形固定資産		
その他	2,892	3,523
<b>無形固定資産合計</b>	<b>2,892</b>	<b>3,523</b>
投資その他の資産		
投資有価証券	4,123	4,636
長期貸付金	16	11
繰延税金資産	800	519
その他	309	310
貸倒引当金	△15	△16
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>5,233</b>	<b>5,462</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>27,917</b>	<b>33,589</b>
<b>資産合計</b>	<b>66,605</b>	<b>67,675</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	1,015	755
リース債務	280	260
未払法人税等	493	578
賞与引当金	534	298
役員賞与引当金	49	28
その他	1,801	1,668
<b>流動負債合計</b>	<b>4,174</b>	<b>3,590</b>
<b>固定負債</b>		
リース債務	1,306	1,325
退職給付に係る負債	2,338	2,262
役員退職慰労引当金	221	222
資産除去債務	30	30
その他	349	348
<b>固定負債合計</b>	<b>4,246</b>	<b>4,189</b>
<b>負債合計</b>	<b>8,421</b>	<b>7,779</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	51,955	53,415
自己株式	△854	△854
<b>株主資本合計</b>	<b>54,875</b>	<b>56,335</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,261	1,597
繰延ヘッジ損益	△8	79
為替換算調整勘定	2,186	1,988
退職給付に係る調整累計額	△142	△114
その他の包括利益累計額合計	3,296	3,551
<b>非支配株主持分</b>	<b>11</b>	<b>9</b>
<b>純資産合計</b>	<b>58,183</b>	<b>59,895</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>66,605</b>	<b>67,675</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	20,307	20,090
売上原価	10,930	11,410
売上総利益	9,377	8,679
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,066	2,110
賞与引当金繰入額	161	136
退職給付費用	175	173
役員退職慰労引当金繰入額	32	30
販売促進費	143	173
研究開発費	647	675
その他	4,087	4,262
販売費及び一般管理費合計	7,313	7,561
営業利益	2,063	1,117
営業外収益		
受取利息	62	63
受取配当金	82	102
為替差益	－	2
受取家賃	35	41
その他	36	69
営業外収益合計	218	280
営業外費用		
支払利息	26	25
為替差損	30	－
自己株式取得費用	23	－
その他	11	32
営業外費用合計	92	58
経常利益	2,188	1,339
特別利益		
補助金収入	－	2,370
特別利益合計	－	2,370
特別損失		
工場移転関連費用	－	449
特別調査費用等	107	－
特別損失合計	107	449
税金等調整前四半期純利益	2,081	3,260
法人税等	631	1,089
四半期純利益	1,449	2,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,449	2,170

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,449	2,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	335
繰延ヘッジ損益	83	88
為替換算調整勘定	292	△197
退職給付に係る調整額	36	28
その他の包括利益合計	402	254
四半期包括利益	1,852	2,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,851	2,425
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費 918百万円	1,409百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高 顧客との契約から生じる収益 その他の収益	8,914 -	6,399 -	3,252 -	1,739 -	20,307 -
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,914 -	6,399 -	3,252 -	1,739 -	20,307 -
計	8,914	6,399	3,252	1,739	20,307
セグメント利益又は損失(△)	1,574	418	33	36	2,063

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高 顧客との契約から生じる収益 その他の収益	8,994 -	6,128 -	3,359 -	1,607 -	20,090 -
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,994 -	6,128 -	3,359 -	1,607 -	20,090 -
計	8,994	6,128	3,359	1,607	20,090
セグメント利益又は損失(△)	1,412	△257	28	△65	1,117

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。